

学童クラブ事業ガイドライン

別紙

学童クラブの運営・管理者の項目

ガイドライン項目		自己点検	チェックポイント	解説
I リーダーシップと意思決定	1 学童クラブの理念や基本方針を明らかにし、職員や保護者等に周知している	<input type="checkbox"/> 全部できている <input type="checkbox"/> 一部できている <input type="checkbox"/> 全くできていない	① 学童クラブの理念や基本方針を明らかにしている	<p>「学童クラブの理念や基本方針」は、学童クラブとして目指したい状態などを明らかにしたものです。職員の行動基準の基になるなど、運営を進める上での基本となるため、職員や保護者等に周知することが必要となります。</p>
			② 学童クラブの理念や基本方針について、職員の理解を深めるために説明、研修、資料の配布などを行っている	
			③ 学童クラブの理念や基本方針について、保護者等の理解を深めるために説明、資料の配布などを行っている	
	2 学童クラブの運営・管理者は、自らの役割と責任を職員に対して明らかにし、学童クラブをリードしている	<input type="checkbox"/> 全部できている <input type="checkbox"/> 一部できている <input type="checkbox"/> 全くできていない	① 学童クラブの運営・管理者は、自らの役割と責任を職員に伝えている	<p>「学童クラブの理念や基本方針」を達成するために、学童クラブの運営・管理者が、自らの役割と責任を明らかにすることは重要です。そのさい、文書等での掲示や口頭での説明で職員などにわかりやすい形で伝えるとともに、自ら模範を示していくことが必要です。「学童クラブの運営・管理者」は、区市町村・委託事業者・指定管理者などがあげられます。</p>
			② 学童クラブの運営・管理者は、自らの役割と責任に基づいて行動している	
	3 重要な案件について、学童クラブの運営・管理者は実情を踏まえて意思決定し、その内容を職員や保護者に周知している	<input type="checkbox"/> 全部できている <input type="checkbox"/> 一部できている <input type="checkbox"/> 全くできていない	① 重要な案件を検討し、決定する手順があらかじめ決まっている	<p>学童クラブの運営に関わる重要な案件については、組織として決定する手順をあらかじめ決めて、その決定経緯を職員や保護者に周知していることが必要です。</p>
			② 重要な案件の決定内容と経緯について、職員に周知している	
			③ 重要な案件の決定内容と経緯について、必要に応じて保護者に周知している	

学童クラブ事業ガイドライン

学童クラブの運営・管理者の項目

ガイドライン項目		自己点検	チェックポイント		解説
Ⅱ 社会的な取組	4	福祉サービスに従事する者として、守るべき法・規範・倫理などを周知している <input type="checkbox"/> 全部できている <input type="checkbox"/> 一部できている <input type="checkbox"/> 全くできていない	①	全職員に対して、守るべき法・規範・倫理などの理解が深まるように取り組んでいる	福祉サービスを提供する者の責務として、守るべき法・規範・倫理などを職員に周知しながら事業を進める必要があります。
	5	地域社会に対し、学童クラブの運営やサービスの状況を明らかにするなど、透明性の高い組織としている <input type="checkbox"/> 全部できている <input type="checkbox"/> 一部できている <input type="checkbox"/> 全くできていない	①	地域社会に、学童クラブ便りなどの広報紙を通じて学童クラブの運営やサービスの状況を明らかにしている	福祉サービスを提供する者の責務として、学童クラブ便りなどの広報紙を通じた情報開示などにより、地域社会から理解を得られることが必要です。
	6	将来を担う人材として、実習生や職場体験等を受け入れる体制がある <input type="checkbox"/> 全部できている <input type="checkbox"/> 一部できている <input type="checkbox"/> 全くできていない	①	実習生や職場体験等を受け入れる体制がある	福祉サービスを提供する者の責務として、福祉分野における将来の人材育成への協力を行うことは必要です。
	7	学童クラブの機能や福祉の専門性をいかした取組を行うよう努力している <input type="checkbox"/> 全部できている <input type="checkbox"/> 一部できている <input type="checkbox"/> 全くできていない	①	子どもや保護者に対するサービスに支障がない範囲で、地域住民からの相談があれば応ずるよう努力している	学童クラブが機能や福祉の専門性をいかしながら、地域の子育て支援をしていくことが必要です。子育て支援策としては、地域住民からの相談に応じたり、知識や情報を提供する努力も必要となります。
	②	地域住民や関係機関を対象にした研修会の開催や講師の派遣などの要請があれば、可能な限り応対するよう努力している			
8	地域の関係機関や住民との連携を図っている <input type="checkbox"/> 全部できている <input type="checkbox"/> 一部できている <input type="checkbox"/> 全くできていない	①	地域の関係機関や住民と連携しながら、学童クラブを運営している	学童クラブは、地域社会の一員として、学校や児童館、地域住民などと連携をして地域の子育て支援を推進していくことが必要です。	
②	ボランティアの受入れに対する基本姿勢がある				

学童クラブ事業ガイドライン

学童クラブの運営・管理者の項目

ガイドライン項目		自己点検	チェックポイント	解説	
Ⅲ ニーズの把握と計画的な運営	9	学童クラブに対する利用者の意向を理解し対応している	<input type="checkbox"/> 全部できている <input type="checkbox"/> 一部できている <input type="checkbox"/> 全くできていない	① 現在、利用している子どもや保護者の意向をアンケートなどを行って把握している ② 苦情の解決方法について体制が整備されている ③ 子どもや保護者が意見や苦情を言いやすくするために、学童クラブ側からの声かけなどを行っている	学童クラブがさまざまな機会をとらえて、積極的に子どもや保護者の意向を収集をし、互いに信頼を深めていく必要があります。
	10	地域や福祉制度等の情報を収集し、把握している	<input type="checkbox"/> 全部できている <input type="checkbox"/> 一部できている <input type="checkbox"/> 全くできていない	① 地域住民や社会が求めている学童クラブ事業に対するニーズを把握している ② 学童クラブ事業に関する福祉制度等や、行政の動きなどの情報収集に取り組んでいる	地域における学童クラブのニーズや運営に関する情報収集は、学童クラブの方向性を左右する重要な情報となるため、早めの対応が必要となります。
	11	学童クラブを計画的に運営している	<input type="checkbox"/> 全部できている <input type="checkbox"/> 一部できている <input type="checkbox"/> 全くできていない	① 学童クラブの理念や基本方針を実現するために、年間の計画を立てている ② 年間計画の進捗状況を確認し、必要に応じて計画を見直している ③ 年間計画の推進にあたり、目指す目標と達成度合いを図る指標を明らかにしている	「学童クラブの理念や基本方針」を実現するためには、実践的な計画の策定が重要となります。環境の変化に応じて計画を見直し、その着実な実行に取り組むことが必要となります。

学童クラブ事業ガイドライン

学童クラブの運営・管理者の項目

ガイドライン項目		自己点検	チェックポイント	解説
IV 職員の 能力向上	12 人材の確保と能力の発揮 に取り組んでいる	<input type="checkbox"/> 全部できている <input type="checkbox"/> 一部できている <input type="checkbox"/> 全くできていない	① 職員の資格要件、勤務体制、育成の方法など、学童クラブの人事に関する方針がある	<p>「学童クラブの理念や基本方針」を実現するためには、必要な人材や人員体制について、組織として具体的な方針をもっていることが重要です。</p> <p>職員が満足していきいきと働くことで、学童クラブに対する満足度も向上しやすくなります。</p> <p>学童クラブの運営・管理者は、職員が何に満足し、何に不満をもっているかをあらゆる機会を通して把握する仕組みをつくる必要があります。</p>
			② 学童クラブの人事に関する方針に基づき、必要な人材を採用している	
			③ 計画的な研修の実施や、職員が一定レベルの知識などを学べるような機会を提供している	
			④ 職員の就業状況を把握し、職場環境などの改善に取り組んでいる	
			⑤ 職員の意識を把握し、働きがいのある学童クラブとして職員の意欲向上に取り組んでいる	

学童クラブ事業ガイドライン

学童クラブの運営・管理者の項目

ガイドライン項目		自己点検	チェックポイント	解説
V 学童クラブの安全管理	13 子どもの安全確保のための体制が整備されている	<input type="checkbox"/> 全部できている <input type="checkbox"/> 一部できている <input type="checkbox"/> 全くできていない	① 定期的に、子どもの安全確保のための学習会や研修などを開催している ② 安全管理マニュアルなどを作成し、職員に周知している ③ 子どもの安全確保のために、関係機関と連携を密にするとともに職員の役割分担を明らかにしている ④ 発生した事故や事故につながりそうな事例などをもとに、再発防止・予防対策を策定している	<p>子どもの安全を確保することは最も基本的なことであり、そのための体制を整備することは最低限の義務として当然のことです。</p> <p>職員の意識に訴えるだけでなく、組織として継続的に取り組む仕組みをつくる必要があります。</p>
	14 個人情報、 「個人情報保護法」の趣旨を踏まえて取り扱っている	<input type="checkbox"/> 全部できている <input type="checkbox"/> 一部できている <input type="checkbox"/> 全くできていない	① 子どもや保護者の個人情報の利用目的を明らかにしている ② 個人情報保護に関する規定を明らかにしている ③ アルバイトやボランティアなどに、個人情報保護に関する留意事項を伝えている	<p>平成17年4月に施行された「個人情報の保護に関する法律」では、個人情報の利用目的や取扱いについて明らかにすることが理念として求められています。</p> <p>個人情報の流出は子どもや保護者に大きな影響が及びます。アルバイトやボランティアを含めた職員一人一人が、個人情報の適正な取扱いが確保できるよう組織として取り組む必要があります。</p>

学童クラブ事業ガイドライン

学童クラブ職員の項目

ガイドライン項目		自己点検	チェックポイント	解説
VI 利用者への情報提供や共有	15 子どもや保護者に対して、学童クラブに関する情報を提供している	<input type="checkbox"/> 全部できている	① 提供する情報の表記や内容は、子どもや保護者にとってわかりやすいものになっている	学童クラブの利用を希望している保護者等に対して、利用前の事前情報をどのように情報提供しているか、またその際、保護者のニーズをどう考慮しているかは重要です。情報提供方法や内容をわかりやすいものなどに工夫をし、情報の入手先に配慮することは必要です。
		<input type="checkbox"/> 一部できている	② 区市町村や学校、関係機関に学童クラブに関する情報を提供している	
		<input type="checkbox"/> 全くできていない	③ 子どもや保護者の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に合わせて対応している	
	16 学童クラブの利用開始にあたり、子どもや保護者に説明し理解を得ている	<input type="checkbox"/> 全部できている <input type="checkbox"/> 一部できている <input type="checkbox"/> 全くできていない	① 利用開始にあたり、学童クラブでの基本的ルールや重要な事項について、子どもや保護者の状況に合わせて説明し、理解を得ている ② 学童クラブについて説明するときは、子どもや保護者の意向を確認している	学童クラブを利用する前の子どもや保護者に対して、意向を確認し、周知すべきルールや重要な事項を説明して理解を得ることが必要です。
17 学童クラブの利用開始及び終了の際に、子どもや保護者の環境変化に対応できるよう支援している	<input type="checkbox"/> 全部できている <input type="checkbox"/> 一部できている <input type="checkbox"/> 全くできていない	① 利用開始にあたり、子どもの支援に必要な個別事情や要望を把握している ② 学童クラブを利用し始めるときは、子どもの不安やストレスを軽減するよう配慮している ③ 学童クラブの利用を終了するときには、子どもや保護者の不安に配慮した支援を行うよう努力している	子どもや保護者が学童クラブを利用し始める際に、環境の変化などにより受ける影響を緩和するための支援や、子どもが新たな環境になじめるような配慮などを行うことは重要です。また、学童クラブの利用が終わるときも子どもや保護者の不安をなくすような努力を行っていることも必要です。	
18 必要に応じて、子どもに関する記録を行うとともにその管理体制を確立し、その情報を職員間で共有している	<input type="checkbox"/> 全部できている <input type="checkbox"/> 一部できている <input type="checkbox"/> 全くできていない	① 必要に応じて、子ども一人一人に関する情報を記録している ② 子どもに関する情報を、担当する職員すべてが共有し、活用している ③ 子どもの状態に変化があった場合は、申し送り・引継ぎ等により職員が情報を共有している	必要に応じて子ども一人一人に対応するために、子どもに関する情報を記録し共有することは重要です。また、職員の異動があったときも、子どもに関する情報を適切に引き継ぐことが必要になります。	

学童クラブ事業ガイドライン

学童クラブ職員の項目

ガイドライン項目		自己点検	チェックポイント		解説
VII 子どもの健全育成	19	子どもの健全育成を促すための支援を行っている	<input type="checkbox"/> 全部できている <input type="checkbox"/> 一部できている <input type="checkbox"/> 全くできていない	① 子どもの自主性や自発性を尊重しながら、適切な遊び等を取り入れている ② 子ども同士が習慣や文化の違いなどを認め、互いを尊重する心を育てる工夫をしている ③ 障害のある子どもの対応にあたっては、一人一人の障害の特性などに応じた対応ができるように配慮している	日ごろの学童クラブ活動の中で子どもの健全育成を促すために、子ども一人一人の自主性や特性を尊重し、適切な遊びを取り入れ、状況に応じた配慮をすることは必要となります。
	20	学童クラブの考え方に基づいて、おやつを提供をしている	<input type="checkbox"/> 全部できている <input type="checkbox"/> 一部できている <input type="checkbox"/> 全くできていない	① 食物アレルギーのある子どもに配慮したおやつを提供している ② 椅子やテーブルの設置や配置など、子どもがおやつの時間を楽しく過ごせるように配慮している	学童クラブの考え方に基づいておやつの提供をし、椅子やテーブルの設置や配置などに配慮することは重要です。また、子ども一人一人の状況やアレルギーに対する配慮も必要です。
	21	子どもの心身の健康状態に関して配慮している	<input type="checkbox"/> 全部できている <input type="checkbox"/> 一部できている <input type="checkbox"/> 全くできていない	① 子どもの心身の健康状態を日常的に把握している ② 体調の悪い子どもが横になったり、静養できるスペースがある ③ 子どものケガや急病に対して、応急措置や連絡体制が整備されている	子どもの心身の健康状態の把握は、学童クラブの中で日常的に行い、体調の変化などがあったときの連絡体制も含め迅速に対応できる体制を整えていることが必要となります。
	22	学童クラブでの生活が、子どもにとって楽しく快適になるような工夫をしている	<input type="checkbox"/> 全部できている <input type="checkbox"/> 一部できている <input type="checkbox"/> 全くできていない	① 遊具や図書などを備え、誕生会や季節の行事の開催など、子どもが学童クラブの生活を楽しめる工夫をしている ② 子どもにとって学童クラブが、快適な環境で落ち着ける雰囲気になっている ③ 子どもの所持品等を収納する自分用のロッカー等が設置されている	子どもにとって楽しく快適な学童クラブにするために、子どもの意向や興味を引き出すような取組を行うことが重要です。たとえば、誕生会や季節の行事の開催、遊具や本などの備えをすることが必要です。また、子どもにとって学童クラブが快適な環境になるための工夫や、落ち着ける雰囲気職員がつくっていくことは重要です。
23	プライバシー保護徹底を図るとともに、子どもの権利を守り、個人の意思を尊重している	<input type="checkbox"/> 全部できている <input type="checkbox"/> 一部できている <input type="checkbox"/> 全くできていない	① 着替えやトイレ、家庭の事情など、子ども自身が恥ずかしく思うことがないように配慮している ② 子どもの気持ちを傷つけるような言動、放任、虐待、無視などが行われることがないように、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に対応を検討する仕組みがある	プライバシー保護についてどのような配慮を行っているか、また子どもの権利を守り個人の意思を尊重するために組織的に取組を行っているかどうかを確認することが必要です。	

学童クラブ事業ガイドライン

学童クラブ職員の項目

ガイドライン項目		自己点検	チェックポイント	解説
Ⅷ 家庭や学校との連携	24 学童クラブと家庭との交流・連携を緊密に行っている	<input type="checkbox"/> 全部できている <input type="checkbox"/> 一部できている <input type="checkbox"/> 全くできていない	① 保護者の参観を受け入れる仕組みがある	学童クラブと家庭の緊密な関係をつくることは、互いの意思疎通や信頼関係を構築するうえで重要です。 学童クラブの行事に保護者が参加したり、保護者会を開催することは、保護者同士が交流する機会を提供することになります。
			② 連絡帳、学童クラブ便り、保護者会などを活用し、学童クラブでの子どもの生活ぶりを家庭に伝えている	
			③ 保護者が学童クラブの行事などに参加しやすいよう、工夫している	
			④ 保護者会など、保護者同士の交流の機会を設けている	
25 学校と連携して学童クラブを実施している	<input type="checkbox"/> 全部できている <input type="checkbox"/> 一部できている <input type="checkbox"/> 全くできていない	① 学童クラブの運営に際しては、学校との連絡や調整を図っている	子どもが日々通う学校と学童クラブの連携は、子どもの状態を把握し、適切な運営を行う上でも必要です。	
		② 学校での子どもの様子を把握するために、学校と情報交換をしている		
26 虐待防止の取組や育児困難家庭への支援を行っている	<input type="checkbox"/> 全部できている <input type="checkbox"/> 一部できている <input type="checkbox"/> 全くできていない	① 虐待防止や育児困難家庭への支援のために、職員の研修や勉強会などを実施し理解を深めている	虐待の早期発見・防止に向けた取組や支援を学童クラブで組織的に行うことは重要です。 虐待被害にあった子どもや疑いがある子どもを発見した際に、児童相談所などの関係機関への連絡や対応の仕方などについて職員が組織的に対応できるかどうかを確認する必要があります。	
		② 子どもへの虐待の事実や疑いがあるときは、学童クラブとして迅速に対応する体制がある		
		③ 子どもへの虐待の事実や疑いがあるときは、児童相談所等の関係機関に連絡し、その後も連携して対応する体制がある		
27 地域の連携をもとに、子どもの生活の幅を広げるための取組を行うよう努力をしている	<input type="checkbox"/> 全部できている <input type="checkbox"/> 一部できている <input type="checkbox"/> 全くできていない	① 子どもや保護者が必要とする地域の情報を提供している	子どもの健全育成のためには、生活の幅を広げることが重要です。 そのための取組として、地域住民とのさまざまな交流や学童クラブに通わない子どもと交流する機会を設けることについて努力することが必要です。	
		② 地域住民や学童クラブに通わない子どもとの交流の機会を設ける努力をしている		

学童クラブ事業ガイドライン

学童クラブ職員の項目

ガイドライン項目		自己点検	チェックポイント	解説
Ⅸ 学童クラブ業務の標準化	28 マニュアル等を整備し、サービスの基本事項や標準的な手順等を定めている	<input type="checkbox"/> 全部できている <input type="checkbox"/> 一部できている <input type="checkbox"/> 全くできていない	① マニュアル等で、学童クラブが提供しているサービスの基本事項や標準的な手順等を明確にしている ② マニュアル等は、職員の共通理解が得られるような表現にしている ③ 定められた基本事項や標準的な手順等に沿って、学童クラブのサービスが提供されているかどうか、確認をしている ④ 職員は、わからないことが起きたときや業務点検の手段として、日常的にマニュアル等を活用している	マニュアルを活用し、職員一人一人による対応のばらつきを無くし、常に一定のレベルを確保することが学童クラブには必要です。職員が少数配置されている場合でも、業務の基本的事項や標準的な手順をマニュアル等を活用し確認していくことは重要です。
	29 さまざまな取組により、業務の一定水準を確保している	<input type="checkbox"/> 全部できている <input type="checkbox"/> 一部できている <input type="checkbox"/> 全くできていない	① 打合せや会議等を通じて、職員全員にサービスの基本事項や手順等の情報が行き渡るようにしている ② 職員は、分からないことが起きた際に、指導者や先輩等に助言を受けている ③ 指導者や先輩等は、職員一人一人のサービスの提供方法について、指導・助言している	学童クラブにおける一定の水準を確保するために、サービスの基本事項や手順等を職員全員が共有していることは重要です。一例として、研修の参加、指導者や先輩の助言・指導があげられます。学童クラブを運営していく中で、職員のスキルアップ向上は子どものためにも必要なことです。